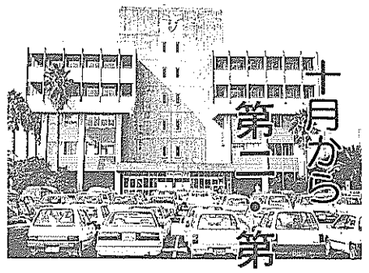

市役所では、十月十四日から国や県の機関と同様に、一部を除いて、毎月第二・第四土曜日は閉庁することになりました。

市民の皆さんにはたいへんご迷惑をおかけすることになりますが、国民の労働時間を短縮するという主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

第二・第四土曜日に休みになるのは次の施設です。

○市役所の本庁及び支所、水道局、福祉館、青少年補導センター

○消防署、学校、幼稚園、保育所、児童館、図書館、体育館、中央公民館

なお、本庁の西入口の当直室では、婚姻届、出生届、死亡届などを受け付けます。

また、次の施設は第二・第四土曜日も従来どおり業務を行います。

香南火葬場組合に加入

土佐山田町南国市 火葬場組合が解散

土佐山田町南国市火葬場組合の解散が、八月三十日の組合議会で議決されました。

同組合は昭和五十四年に設立されましたが、施設が老朽化したため、六十年七月に業務を休止。

その後、対応策について検討を重ね、かねてから、土佐山田町を除く香美郡下の七ヵ町村で組織されている香南火葬場組合に加入の申し入れを行ってきました。その結果、このほど加入の了承を得、組合を解散、香南火葬場組合に加入することになったものです。

三十日の組合議会では、解散と解散に伴う財産処分に関する議案を議決。用地のうち七百八十四万一千円分を南国市分とすることを決定しました。

社交ダンスで楽しいひとときを

農業青年と独身女性が交流

農業青年と独身女性が交流

農業青年ハッピーライフ事業の一環として、九月十六日に空港会館でダンスパーティーが開かれ、農業青年と女子大生、OLなどの独身女性約百十人が交流、楽しいひとときを過ごしていました。

このハッピーライフ事業は、農業青年と独身女性の交流を図ろうと県が去年から行っているもので、今回は農業青年ハッピーライフ南国地区推進会議（山本桂会長）が中心となってダンスパーティーを企画したところ、五十人を超える女性が参加。

じゃんけんゲームで打ち解けた後、高知社交ダンス愛好会の皆さんの指導でステップを練習。「チャチャチャ」と「ブルース」の音楽に合わせ、正装した参加者はとまどいながらも楽しそうに交流していました。

県が空港再拡張への協力を要請

高知空港対策推進本部長の川崎副知事が、九月十三日に市役所を訪れ、市長に空港再拡張への協力を要請しました。

副知事は、この日開かれた高知空港対策特別委員会（島内正雄委員長）に出席するために来庁、委員会に先立って市長を訪れ、正式に協力を求めたものです。

委員会の席上、副知事は「前回の拡張の際、再拡張は行わないと言ったのは事実であるが、利用者の著しい増加に対応するとともに、県勢の浮上を図り、国民休暇県を推進するため」と二、五〇〇㍍への拡張の必要性を説明、委員の理解を求めました。

これに対して委員からは、再拡張の必要性に疑問をはさむ声や、地元対策についての県の考えを問う声が上がり、最後に前回の拡張に伴う事業の完成を改めて要望。

市長は協力の要請に対し、「議会の意向をくんで今後行動していきたい」と述べました。

都市計画道路の説明会が開催される

四会場で四百人が出席

9月18日には香長中で説明会を開催

高知広域都市計画道路の計画案の地元説明会が、九月十八日から市内四会場などで開かれ、約四百人の市民が出席。この計画に関する関心の高さをうかがわせていました。

今回、都市計画決定についての説明会が行われたのは、高知東部自動車道の一部をなす浦戸東部道路など六路線。

特に浦戸東部道路については、国道五五号線の交通渋滞の緩和や日常生活の利便性などを図るとともに、陸、海、空の高速交通体系を一体化し、県土全体の発展につながる路線として注目されています。計画案では、高知自動車道に接続する高知ジャンクションを起点に高知市高須を南下、五台山トンネルを抜けて下田川の南の山沿いを東進、稲生で下田川を北へ渡り、鉢伏山の南東斜面に沿って潮見台ニュータウンの東へ、そこから南国バイパスに並行して進み、香長中学校の北を通って空港の北側に至る延長一五・一㌔。制限速度は八〇㌔、暫定二車線で最終的には四車線となる予定です。

十八日にトップを切って香長中学校で行われた説明会には約百五十人が出席。まず、国や県からルートや環境に対する影響、今後の計画決定の手順などの説明を受けました。続いて質疑に移り、道路の構造や排水への影響、騒音などについて熱心に質問していました。

日章小で再説明会を開催します

九月十九日に日章小学校で説明会が開かれましたが、台風による集中豪雨で出席できなかった方のため、再度次のとおり説明会を行います。

◪日時　十月九日(月)午後七時～九時

◪場所　日章小学校体育館

みんなで明日ある青少年を育てよう

第4回青少年健全育成大会

第四回南国市青少年健全育成大会が、九月十六日に市役所で開かれ、中学生の意見発表や善行青少年の表彰などが、行われました。

善行青少年を表彰　元気よく意見発表

これは、非行が低年齢化、広域化するなか、市民が一丸となって健全育成、非行防止活動を推進しようと、青少年健全育成市民会議（川田光城会長）が主催して毎年開いているものです。

大会では、来賓の祝辞に続いて、七十人余りの参加者を前に、八人の中学生が、しっかりとした口調で自分の体験に基づいた意見を発表。

この後表彰が行われ、川田会長から一人一人に表彰状が手渡されました。表彰されたのは次の皆さんです。

◪意見発表者　宗石智恵「非行防止に向って」(鴨ヶ池中一年)、野島育子「女性差別について思うこと」(同三月)、廣地あずみ「友達を作ろう」(香南中二年)、北村渉一「交通事故とその防止について」(同三年)、明神勝呂「学校生活」(同三年)、中島慶子「中学校生活」(同三年)、宇賀史生「部活で学んだこと」(北陵中二年)、和泉香織「心の扉が開かれたとき」(同三年)

◪善行青少年　石本孝夫(国分)、溝渕幸治（大埔）、田島康雄（小笹）

市役所の庁舎の前で記念撮影